

1 単元名 森で学ぶ ～私たちの住む屋久島の森を知り、守ろう～

2 単元の目標

- 屋久島の森林を取り巻く環境や生活とのつながり、森林資源の育成と保護のための努力や工夫について調べたり伝えたりすることができる。 (知識及び技能)
- 持続可能な森林環境づくりに関わっている人たちに実際に聞いた話から課題を見つけ、自分の経験を振り返りながら、自分たちは屋久島の森林環境を守るためにどのように関わっていけばいいのかを考え表現する。 (思考力・判断力・表現力等)
- 森林資源の果たす役割やそれを守ろうとする仕事や活動に興味を持ち、自分たちの生活とのつながりを見つけ、これからできることをしようとしている。 (主体的に取り組む態度)

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、社会科「国土の自然とともに生きる」との関連を活用して実施する。

社会科では、地域の林業が経済・環境・文化に関わっていることや森林の現状についての問題点を知り、森林環境を保護するために、自分たちにできることを選択・判断していく。さらに、総合的な学習の時間を利用して、持続可能な森林づくりに参画するという行動へつなげることができるようにする。

地域の木材や木工品に触れたり、地域で育てられた木材が使われている施設や展示材を見学したりすることで、その活動への意欲を高めることができる。また、実際に地元の木材を使った木工品を作ってみたり触ってみたりすることで、その良さに気づき、自分たちの生活との関わりを振り返ったり興味を持たせたりすることが期待できる。さらには、森林組合や林業の現場、製材所などを見学することで、森林環境を保護するために様々な仕事があり、それぞれが大切な役割を果たしてことに気づき、働く人たちへの思いに共感や尊敬の気持ちを高めることができる。

また、自分たちの住む屋久島の森林が、世界自然遺産となりたくさんの観光客がやってくることを取り上げる。その上で、天然林と人工林の違いを知り、それぞれの果たす役割について学ぶことで、環境保護と産業の両立を一緒に行っていくことの大切さに着目し、自分たちの住む地域にあった学びを展開できるよさがある。

(2) 児童観

本学級の児童は、第4学年の総合的な学習の時間の「身近な環境と人々に学ぶ」という単元で、貯木場や浄水場の見学をして、身近にある地域の自然や産業との関わりについて体験を通して学ん

できている。また、外部の講師を招いて、地杉を使用した木育体験をそれまでの小学校生活や学童等で行っている児童も多く、何かしらの形で地域の木材を活用した木工品作りなどを経験している。さらに、見たものや調べたことなどから課題を見つけたり、友達との対話を通して考えを整理して具体的な実践につなげたりしようとする態度が身に付いてきている。

(3) 指導観

本単元の指導にあたっては、まず、以前木育事業で作成した木工品を提示する。その木材はどうやって自分たちの手元に来たのか、地杉を使うことがなぜ屋久島の環境を守ることに繋がるのかを考えさせる。そして、地域で育てられた木材が使われている身の回りのものや建造物、森林に関する資料やポスターなどを提示して、まちと森林の関わりに興味を持たせる。また、町内の森林に関する仕事や施設にどのようなものがあるかを考えたり、提示された資料をもとに、感想や疑問を出し合ったりしながら、屋久島の森林を守るためにどのような人たちがどんな仕事をしているのかという課題をつかませたい。

次に、地域で森林に関する仕事についている人たちをゲストティーチャーとして招いたり、実際に仕事の現場を見学したりすることで、その仕事内容や意義を学ばせる。社会科の教科書で学んだ森林の現状についての問題点と、実際にゲストティーチャーの話を聞いたり仕事を見たりして気づいたことを比べ、共通点を見つけながら、社会で起こっている様々な現象が自分たちの住む地域でも起きていることを確認し、地域の森林環境を守るために一人一人が課題と向き合わなくてはならないという思いを持たせる。

そして、森林の役割や屋久島の森林の現状、持続可能な森林環境をつくろうとする地域の人の営み、持続可能な森林をつくるために自分たちができる関わり方を考え、ポスターや新聞などにまとめる。

さらに、これらの成果物の発表会を行い、これまでに交流をしてきたゲストティーチャーの方々を招いて意見をもらうことで、地域の森林を守るための今後の活動に具体性を持たせるようにする。

(4) ESDとの関連

・本学習で働かせるESDの視点(見方・考え方)

連携生・・・現在の森林環境が守られているのは森林の仕事に携わる人たちのおかげであることは間違いないが、それぞれの役割やつながりが大切であること。

相互性・・・森林と自分たちの暮らしはつながりが深く、未来にかけて豊かな暮らしをするために一人一人が向き合っていかななくてはならない課題があるということ。

責任性・・・一人一人が生活の見直しをすることで、森林を守れることがたくさんあるということ。

・本学習で育てたいESDの資質・能力

多面的・総合的に考える力

森の働きや生活とのつながりについて調べたり考えたりして、豊かな森林を維持するためには

ど

うしたらいいのかを考える。

コミュニケーション力

屋久島の森林や生活のつながりについて、意見交流を通して自分の考えをつくりあげる。

つながりを尊重する力

地域の森林を守る仕事をしている人たちとの関わりを通し、様々な人とのつながりが豊かな学びになっているということを自覚し、尊重しようとする。

進んで参加する態度

自分にできることはないかと考え、生活を見つめ、新しく知ったことからできそうなことを見つけ、進んで選択しようとする。

・本学習で変容を促す E S D の価値観

世代間の公正を意識できる

自分たちも未来の世代も、豊かな地球環境で生活できるような森林との関わり方を追求すること

が大切である。

自然環境・生態系の保全を重視する

なるべく環境に配慮した生活をし、森林を保全するために自分でもできそうな社会活動を選択し

なくてはならない。

・達成が期待される S D Gs

1 5 陸の豊かさを守ろう 自然環境や生態系の保全

1 1 持続可能な屋久島のまちづくり

4 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考力・判断力・表現力	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①地域の森林について調べるために、話を聞き、理解しながら、メモをとることができる。 ②学んだり、調べたりして獲得した知識を、言葉や図、絵などを用いてそれらに関係付けながらまとめることができる。	①地域の森林の課題を見出し、課題を解決する方法を考えることができる。 ②自分の住む地域の森林について学んだことや考えたこと、行動目標を紙に書いたり、タブレットに打ち込んだり、表現することができる。	①これまでも守られてきた地域の森林を自分たちも守りたいという目的意識をもち、意欲的に調べることができる。 ②自分たちの住む地域の森林について学んだことと、地域課題を解決する行動を発信することができる。

5 単元の指導計画（全16時間）

主な学習活動	学習への支援	○ 評価 ・備考
<p>1 地域の木材や木工品に触れることや、森林に関する資料をもとに、課題と今後の活動の見通しをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋久島の杉のことを地杉と言うんだね。 ・どうして屋久島の木材を使うことがいいことなんだらう。 ・屋久島にはたくさんの観光客がくるよ。 ・屋久島の森林を守る仕事ってどんな仕事なのか。 	<p>○自分たちが作成した木工品を手にとらせ、地域の木材が使われている建造物の写真などを提示し、地元の杉を使うことの良さが強調されていることに着目させる。</p> <p>○屋久島には、観光客が訪れる森林もあるが、森林の種類によって人との関わり方が異なってくることを確認する。</p>	<p>イ①</p>
<p>2 屋久島の森林環境や産業について調べ、国や地域で森林を守るために誰がどんなことをしているか、どんな産業があるかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業って森を守るための大切な仕事だ。 ・森林管理署って公民館前にあるけど、何しているのかな。 ・こないだ授業で来た○さんと木工作りをしたよ。 <p>3 ゲストスピーカー（林業・森林管理所・製材所・木工品作り等に関わる人）に話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林を守るためにいろいろな仕事がある。 ・好き勝手に木を切っているわけじゃないことが分かったぞ。 <p>4 林業の現場や製材所を見学し、人々の手で育てられた森林の様子や働き、木材の行方について調べたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの仕事も森林や自分たちの生活を良くするために大切な仕事だ。 ・伐採された木は屋久島の外にも運ばれて使われるのかな。 ・間伐された木もいろいろ利用されているんだ。 	<p>○森林管理所では森林を守るために大切なことや屋久島の森林の現況など体系的な話をしてもらい、林業家や製材所の方には実際の仕事の流れや仕事をする上で大変なこと・やりがいなどを話してもらえるよう事前に打ち合わせをしておく。</p> <p>○どうして今の仕事に就くことになったのかを話してもらい、子どもたちが様々な職業観に触れられる機会を設ける。</p> <p>○地域の方の願いや思いを知り、今後の活動に発展させるため、これまでの交流を通して得た思いを想起させる。</p>	<p>イ①</p> <p>ア①②</p> <p>ウ①</p>
<p>5 持続可能な森林をつくるために自分たちができる関わり方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の木材を使った施設や道具をもっと調べてみよう。 ・森林ワークショップや木工のフェスタがよく行われているね。 ・プラスチックも便利だけど、地元の木で出ているものもいいね。 <p>6 ポスターや新聞などにまとめる。</p>	<p>○可能な限り、関係者にも話し合いに参加してもらい、考えを深められるようにする。</p> <p>○保護者やこれまで交流してきた人々を対象に発表会を開くことを伝え、内容の質や構成についても意識させる。</p> <p>○地域の人々が気軽に使える木工</p>	<p>イ①</p> <p>ウ②</p> <p>ア②</p> <p>イ②</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・地域の森林環境を守る取り組みを応援するための新聞にしよう。 ・自分たちにできることも知ってもらおう。 <p>7 活動のまとめと振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表したことを実践できるようにするぞ。 	<p>品のアイデアを出し合い、地域の産業に安房小からの提案として提示できるようにする。</p> <p>○今まで交流を持った関係者と連携し、子どもたちの学んだことを地域に伝える支援を行う。</p>	
--	---	--